



災害発生時の行動や連携を確認

総合防災訓練を行いました

1月21日、成瀬小学校をメイン会場とする市内4カ所...

え、自治会や災害時協定を結んでいる関係機関など約750人が参加し、発災時の行動や連携体制などを確認しました。

また、令和6年能登半島地震の発生を受け、黙とうを行ったほか、会場には義援金の募金箱が設置されました。



自主防災会長などによる避難所運営会議の演習



避難所から発生した災害ごみの収集訓練を実施



プライバシー対策用パーテーションの組み立て訓練を実施



市獣医師会からペット同行避難の心得について講話

☎危機管理課 94-4865

日向薬師で消防訓練を実施しました

文化財防火デーの1月26日、日向薬師で消防署や消防団、日向薬師関係者などによる合同消防訓練が行われました。



☎消防本部予防課 95-2117

「相州大山景観絵図」が地域の手で作成されました

大山地区の観光振興に取り組む「大山観光振興会」が中心となり、大山地区の景観の魅力を紹介する新たなまち歩きマップとして、「相州大山景観絵図」が作成されました。



配布場所 市役所2階の担当窓口や市観光協会、各公民館など※市ホームページ「産業・まちづくり」→「景観」、または右のQRコードからご覧になれます



☎都市政策課 94-4739



市民リポーター



山伏の姿を今に伝える神木のぼり

日向薬師宝城坊は奈良時代の716年に僧行基により開創されたと伝わる寺で、当時は靈山寺の名であつた信仰され、開創以来、歴代天皇の帰依深く勅願寺としての時代を経て、源頼朝や北条政子など、名だたる武家がたびたび参詣・祈願に訪れていま

「日向薬師」の名で親しまれていいます。正式な名前は、日向山宝城坊といひ、国の重要文化財を10件、県・市の文化財も多数所蔵しています。神木のぼりとは、春季例大祭で行われる、山伏の姿を今に伝える数少ない伝統行事です。

日向薬師は明治初年まで修験の拠点でした。修験道とは深い山にこもり厳しい修行を行い悟りを開くことで、万民救済を目指す実践的な宗教です。日本古来の山岳信仰が、後に伝来した仏教に取り入れられ、日本独特の神仏習合の

宗教文化となりました。修験者は山伏とも呼ばれ、日向薬師を道場とする山伏は、主に丹沢を中心に修行しました。現在行われている神木のぼりは、江戸時代末期のものが基本形で、明治期に修験が廃止になったものを、昭和49(1974)年に100年の時を経て復活しました。

日向薬師の神木のぼり

市民リポーター 芦原秀人さん



Advertisement for Kumon writing classes, including details on classroom opening seminars and lesson schedules.

Advertisement for 'Body Guarantor' services, offering free consultations and information on how to become a guarantor.